



# 全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066  
東京都新宿区市谷台町 14-5 MS ビル市ヶ谷台 1 F  
編集：全難聴事務局  
電話：03(3225)5600  
FAX：03(3354)0046  
URL：<http://www.zennancho.or.jp>  
E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

## 厚生労働省自立支援振興室に要望書提出（2月21日）

この1年余り、感覚障害に関わる四団体（日本盲人会連合、全日本ろうあ連盟、全国盲ろう者協会、そして全難聴）は、ほぼ毎月定期的に勉強会を開催し、相互に連絡をとり合い、現状報告や、施策への対応を話し合ってきました。

昨年平成25年4月1日に施行された総合支援法において、「施行後三年を目途として検討を加え、所要の措置を講ずる」つまり見直しをしますが、現在検討会は実行されていません。

これに対し、「早く見直し検討をはじめよ」「その検討会には我々を委員に加えよ」という要望を伝えるために、四団体が厚生労働省を訪問しました。



厚労省内での事前打ち合わせ

事前に打ち合わせを行い、自立支援振興室にて、要望書を提出しました。

全難聴からは、高岡理事長、新谷副理事長が参加しました。

その際、振興室の君島室長は、要望書をうけとるだけではなく、会議室に全員を招き入れ、要望書の具体的内容について、及び意思疎通支援に関する情報交換、団体としての意

見交換などに1時間以上の時間を割いていただきました。

各団体からは忌憚のない意見が出され、厚労省側からも実質的な対応手順など突っ込んだ提案がなされました。

○他三団体出席者

日本盲人会連合 竹下会長

全日本ろうあ連盟 石野理事長

同 久松事務局長

全国盲ろう者協会 山下事務局長



自立支援振興室長に要望書提出(写真提供：全日ろう連)

※要望書は全難聴ホームページをご覧ください。

[<http://www.zennancho.or.jp/special/center.html>] 全難聴 HP > 中央対策

## 📌 全難聴女性部東海ブロック「女性の集い in なごや」報告



(特非) ぎふ難聴者協会 女性部長 (ブロック長) 加藤千津子

2月15日(土)名古屋市徳川美術館で「集い」が開催されました。今回は、尾張徳川家の雛まつり鑑賞という女性ならではの企画でした。この雛まつりは2月8日(土)~4月6日(日)までの期間限定の特別展です。前日の悪天候にもかかわらず、4県1市のブロックから28名の参加でした。

最初に、28年のベテラン ボランティア解説員の加藤た美子氏から雛人形、雛道具の説明をしていただきました。その後、館内にある「宝善亭」にて一日200食限定といわれる「雛御膳」に舌鼓、春の味覚を堪能しました。

昼食を終え、5グループに分かれて鑑賞しました。鑑賞室は9室からなりたっているが、今回鑑賞した展示室は①~⑥までの6室を鑑賞しました。



②室は、尾張徳川家十四代当主慶勝の夫人で、福島・二本松の丹羽長富の三女として生まれ、嘉永2年にお輿入れした矩姫(かねひめ)さまの雛人形は、束帯姿3対、直衣姿1対、狩衣姿1対の有職雛(公家の装束を正しく考証して作られた雛人形)で、高さおよそ30cmあります。当時製作された大名家のお雛様のなかでも、ひときわ格調高い作品です。

①室は、五摂家の筆頭・近衛家から尾張家十一代齊温に嫁いだ福君(さちひめ)さまの雛道具には梨子地に菊の折枝を配し、所々に近衛家の家紋である抱牡丹紋と徳川家の葵紋を散りばめたデザインを施し、金具にはすべて銀が用いられています。

③室は、徳川美術館の創始者である、尾張徳川家十九代義親の夫人米子、二十代義知夫人正子、二十一代義宣夫人の三千子の三世代にわたる尾張徳川家の雛段飾りは雛人形150体、雛道具150点が展示され高さ2m幅7mもあり壁一面がお雛さまで飾られ圧巻でした。

また、秩父宮妃殿下ご遺愛のお雛様と雛道具も展示されています。

⑤室は、館内の中央に展示された、蛤の身と蓋を合わせる遊び道具の合貝(あわせがい)は特定の一片としか合わないため、貝合とそれを納める貝桶は貞節の象徴として婚礼道具の中で最も大切にされたそうです。



⑥室は、幕末、有栖川宮様と婚約中であつた皇女和宮が公武合体策の一環として十四代将軍家茂と結婚させられ、その時に持参した御所人形や雛道具も今回初めて特別公開されました。

④室は、「犬張子」犬張子は人の顔に似せた顔をした犬をかたどった一對の置物で、犬篋（いぬばこ）とも呼ばれ、子どもが誕生すると、その無事の成長を祈って、天児（あまがつ）と呼ばれる戯れや災いを祓う意味あいの人形とともに枕元に置かれました。また、婚礼の際にも持参され、生涯大切にされました。

尾張徳川家の姫君のためにあつらえられた雛人形、雛道具はも御三家筆頭の名にふさわしい質の高さを誇り、一つ一つに家紋が入った雛道具は実際の婚礼調度のミニチュア、その精緻な美しさには目を見張るばかりです。

全て鑑賞し終えたころはちょうど解散の時間となり、26年度の「集い」再会を約束し帰宅の途につきました。

### 👉 平成25年度 第3回通常理事会（一般社団移行後第3回目）開催

平成26年2月15日（土）降りしきる雪の中、理事会が開催され、理事長以下15名の参加のもと、予算案、事業案について討議がなされました。

現在も26年度計画議案の討議が継続されています。

### 👉 国際障害者ピアノフェスティバル 受賞記念コンサート（2月15日）

上記の通り2月15日（土）東京は、大雪でした。その中でも国際障害者ピアノフェスティバル2013受賞記念コンサートが開催され、受賞者による演奏が行われました。

横浜市で第1回が開催され、その後四年に一度開催されている障害者ピアノフェスティバル（通称ピアノパラリンピック）。2013年第3回大会は音楽の都ウィーンで開催されました。

日本人では弱視に加え、左手だけの演奏で、見事金賞を受賞した月足〔つきあし〕さおりさんが高い評価を得ましたが、同じく聴覚障害者部門金賞を受賞した、先天的感音性難聴の小林淳一さんにも注目が集まりました。

この日、全難聴理事もコンサートの参加、取材を予定していましたが、大雪に加えて午後には理事会を控えている関係で、参加できませんでした。当日の様子は、国際障害者ピアノフェスティバル委員会迫田時雄会長より直接情報をいただきました。

残念ながら、皇后陛下のご臨席はかないませんでした。委員会名誉会長の日野原重明聖路加病院院長が参加され、全出演者の演奏を楽しんだとのこと。

NHKEテレ3月2日（19時30分～19時45分）放送の「ろうを生きる、難聴を生きる」では、小林淳一さんを中心とした番組が放映される予定です。





## 📌 理事の動き (2/1~2/28)

- 2月3日 第11回障害者政策委員会 (新谷)
- 2月3日 総務省第1回CMワーキンググループ (高岡)
- 2月4日 大阪歴史博物館耳マーク研修① (黒田)
- 2月6日 JDF国際委員会 (新谷)
- 2月8日 大阪歴史博物館耳マーク研修② (黒田)
- 2月10日 第2回旅行に関する調査委員会・共用品推進機構 (小川)
- 2月12日 情文センター要約筆記総括会議 (高岡)
- 2月15日 全難聴理事会
- 2月16日 全難聴理事会
- 2月17日 全社協・災害時の避難に関する研究ガイドライン説明会 (小川)
- 2月18日 消防庁羽田空港実証検証 (川井、小川)
- 2月19日 認定補聴器専門店審査部会 (佐野)
- 2月19日 JDF企画委員会 (佐野)
- 2月20日 JDF幹事会 (新谷)
- 2月21日 視聴覚関連4団体厚労省要望書提出 (高岡、新谷)
- 2月25日 視聴覚関連4団体勉強会 (高岡)
- 2月25日 中央本部構成団体拡大学習会 (高岡、小川、高木、荒川)
- 2月28日 所沢社協講習会 (小川)

## 📌 事務局報告

- 2月15日 全難聴常務理事会、理事会
- 2月16日 全難聴理事会
- 2月21日 視聴覚関連4団体厚労省要望書提出
- 2月24日 意思疎通実態調査チーム意見交換会
- 2月28日 全難聴だより No. 69 発行

全難聴事務局より以下ご連絡いたします。

1. 沖縄大会の決議及び宣言はホームページ内 [福祉大会] に掲載いたしました。
2. 佐村河内守の詐聴事件に対する全難聴のコメントは近々アップ予定です。

### 《予定》

- 3月1日~2日 耳の日記念文化祭 (東京)
- 3月3日 厚労省社会・援護局関係主管課長会議
- 3月6日 補聴器協議会
- 3月8日 JDF地域フォーラム in 北海道
- 3月10日 JDF障害者権利条約批准記念特別フォーラム (東京)
- 3月20日 情文センター第3回評議員会
- 3月21日~22日 静難協・全難聴東海ブロック・全要研静岡県支部合同研修会
- 3月29日 国連障害者権利条約批准フォーラム in とやま

ロゴマークの用法については、現在様々な例を検討中です。



一般社団法人  
全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

# 全難聴

